

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すかいきつずぶらす		
○保護者評価実施期間	令和6年12月16日		～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 8名
○従業員評価実施期間	令和6年12月16日		～
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価作成日	令和7年1月15日		

○分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の経験年数	幼少期から携わっている職員がおり、成長の過程を知っている、成長に合わせた支援ができる。	他の職員とも共有し、課題に向かって取り組んでいます。また、常勤職員だけでなく非常勤職員の意見も取り入れ、より良い支援ができるように今後も努めていく。

2	<p>クーラウンできる場がある</p>	<p>クーラウンできるだけでなく、個別活動や個々の特性、好みを考慮した過ごし方を提供できる。</p> <p>個々の特性を考慮し、時間の構造化を図ったり、一人一人の意欲につながるようなプログラムを準備する。</p>
3	<p>子どもたちが楽しく通所できる</p>	<p>子どもに合わせた支援を行うように心掛けている。また、子ども一人一人の気持ちに寄り添い、受け止めながら楽しく過ごしている。</p> <p>職員の意識の向上を目的とした研修を行っていく。</p>

	<p>事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<p>利用者の年齢差が大きい。</p>	<p>・上は、中学3年生。下は小学1年生と成長の差が見られる。 中学生は、体が大きい分、圧倒されてしまうことがある。</p>	<p>・少しずつ慣れてくる中で、中学生の影響を受け、小学生の子どもたちが同じような活動に挑戦する姿が見られるようになってきた。その中で、中学生も年下に対する気持ちが変わっていく環境を作っていく。</p>
2	<p>地域の他の児童との交流の場を持つことがあまりできていない。</p>	<p>他事業所との交流の場はあるが、地域の児童と関わる機会が少ない。公園等で時折、関わることもある。</p>	<p>地域の児童館のイベントの参加や地域に出向いていくイベントを検討していく</p>

3			
---	--	--	--